

5. 17 Iodum (ヨウ素)

Iodum は有名なレメディーである。ヴィソルカスは Iodum のもつ大切な特徴を私たちの意識に上らせた。サンカランは Iodum のプルーピングを指揮したが、そのなかで被験者たちは十分に食べるものが得られない、食べようとする前に、すべての食べ物が食べられてしまっているという夢を見た。これらのテーマは本項でさらに拡大されることになる。Iodum のいかに多くのテーマがユダヤ人の歴史と似通っているかは、注目すべきことである。

[元素の性質]

ヨウ素 (Iodum) という名称はスミレを意味する「Iodes」に由来しており、1811 年に発見された。ヨウ素は青黒色の固体で、熱されると紫色の気体へと気化する。海草には高い濃度でヨウ素が含まれており、昔は海草からヨウ素が抽出されていた。

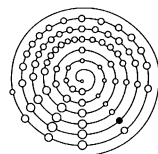
ヨウ素は良質の消毒薬で、たくさんの異なる液剤に使われている。ハロゲンランプにもヨウ素が含まれている。また、インクの顔料としても使用されている。

[概 念]

第 17 段階	銀のシリーズ
消えた	創造、靈感
手放す	アイディア、文化
しがみつく	比類ない、称賛
いいかげんな、要求が多い	美意識：美醜
頂点	芸術、科学、神秘主義
非難される	ショー、パフォーマンス
禁止される	女王、野心
逃げ去る	傷つく、屈辱
	セクシュアリティ
	中年
	町、地方
	声、聴覚

[グループ分析]

- 芸術を手放す
- アイディアを手放す：忘れっぽい
- アイディアにしがみつく：強迫的



- 自分の考えのためにとがめられる
- アイディアがない
- アイディアを手放す：ユーモア
- 政府からとがめられる：監獄
- 地域のなかでとがめられる：存在する権利
- 政府や家主からとがめられる
- 自分の文化から締め出される
- 自分の地域から逃げ去る：移住
- 地域から締め出される：飛ぶ
- 自分の文化的背景を手放すことへの恐れ

[lodum の像]

本質：創造性を手放す

●芸術を手放す

彼らは、これまで抱いていた考えや理論すべてを手放さなくてはならない。有名になろうとか、称賛されて認められたいといった思考は、もはや完全に問題外である。いかなるプライドもかなぐり捨てなくてはならない。これは聖書のなかで、財産も妻子も失ってもなお、神への信仰をもち続けたヨブのテーマである。

●アイディアを手放す：忘れっぽい

彼らは自分の考えを手放しているため、とても忘れっぽい。ほかのことで頭がいっぱいで、いつもたくさんの考えが心に浮かんで過ぎていくので、一つ一つの考えを追ってられないのである。唯一の対処方法は、考えをいちいち紙切れに書きとめておくことである。しかしそれでも、単純に忘れてしまうことがたくさんある。

●アイディアにしがみつく：強迫的

何かを忘れてしまうのではないかという恐怖心はまた、彼らをきわめて強迫的にする。覚えておかなければならないので、絶えず自分に言い聞かせるのである。「これを忘れちゃだめだ、あれをするのを忘れちゃだめだ」と。このつかれたような思考方法は、彼らの活動の仕方を通して表われていることもある。「ドアに鍵をかけたかチェックしなくては」と、何度も何度もチェックするのである。このような思考が、彼らの精神をコントロールし、やがて、他には何も興味を発展させることができないほどになる。

●アイディアを手放す：ユーモア

彼らには大きなユーモア感覚があって、自分自身の考えや他人の考えをからかう傾向がある。他人をからかったり、冗談を言ったりして、道化のようにふるまうのが好きなのである。このユーモアは自己防衛の一種であり、自分の占める立場をぼかすのである。しかしそうするうちに、彼ら自身も、自分が本当にしたいこと、言いたいこと、創造したいことが何なのか、わからなくなってしまう。彼ら自身は他人にからかわれるのが嫌

いである。

●理想がない

彼らに関するかぎり、あらゆる思考とアイディアは相対的なものにすぎない。そしてついには、あらゆるものは無意味だというところにまで行き着いてしまう。熱意に火をつけるようなものは何も残されていない。彼らは、きわめて不道徳になったり、犯罪を犯すことさえあるだろう。もう何もかもどうでもよいのだから。

●自分の考えのためにとがめられる

彼らは自分の思考や意見のために自分が責められているように感じている。彼らの理想や宗教が、彼らが投獄されたり、国から追放されたりする理由なのかもしれない。

●自分の地域から禁止される：存在する権利

彼らは、自分が生まれ育って経験を積み重ねてきた地域から去らなくてはならない。戦争や飢餓、ほかの災害など自分の存在を脅かすことが、その理由かもしれない。飢餓というテーマは、彼らの人生において特に重要である。食べ物が十分になくて、そのために自分は餓死してしまうという感覚が、彼らにはある。日々の糧を確実に得られるようにすることが、彼らにとって非常に大切なのである。

●自分の地域から逃げ去る：移住

Iodum の典型的なテーマは移住、すなわち母国から立ち去ることである。彼らは難民であり、故郷や家庭から追い出されてしまった。その地域には、収穫も食べ物も仕事も、何も残されていないので、彼らは逃げ去ったのである。あるいは、自分の信仰がもはや許されなくなったために、彼らは逃げ去ったのかもしれない。

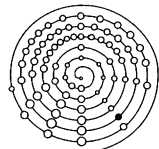
または、家族すべてを失ったため、そこに住み続ける理由がなくなって、約束の地を探し求めて旅立つことを選んだのかもしれない。

●地域から禁止される：難民

彼らの心の奥底にはいつも逃げ去らなければならないという感覚があり、そのため、いつも落ち着きがない。それはまるで、いつも逃げなくてはならなかったユダヤ人が抱いた感覚のようである。この落ち着きのなさは、働きたい、忙しくしたいという絶え間ない欲求自体に表現されている。彼らは行動的で、興奮しやすく、せわしくて衝動的である。彼らは頭の回転が速く、行動や話し方も速い。落ち着きのなさは、彼らがどこへ行こうとも自分の存在を確立しなくてはという強い衝動にも帰結している。常に食べ物を探し求め、何か生活の糧になるものを探し求めているのである。この状況は、家族を失ったり、家族が所有していた土地を失ったりした後に生じるかもしれない。戦争や洪水の後、そして家族を失った後は、彼らはもはや自分の土地にいても安寧を感じることができず、どこか別のよりよい場所を探し求めて出発するのである。

●自分の文化を手放すのが怖い

しかし、彼らは自分のもっていた絆がすべて断ち切られるのも怖い。これは無限なる



ものへの恐れ、際限なく広がる空間、水平線が果てしなく遠くに見える海への恐怖として表れている。彼らは自分の文化や自分の土台を手放すのが怖い。なぜならば自分がどこへどんなふうに行き着くことになるか、全くわからないからである。

[表現型]

恐怖：高所、狭い空間、失敗、ショー、パフォーマンス、スピーチ、災害、邪悪、飢餓、ささいなこと、プレゼント、未来；病氣、医者、休息して気が狂うこと；触れられる、見られる、接近される、しっかりつかまれる、人々、建物、水、仕事；＜怖い話。

夢：高所、落下、失敗、監獄、逃げ去る、旅行、火、食べる、泥の中を歩く、娘が水に落ちる、事故、エロチック、危険、死人、大便にまみれる、激しい活動、疲労、落ち着きがない、性交できない、廃墟、水。

妄想：死人、断食、気が狂う、水、病氣、健康、忘れる。

反応：けんか腰になる、叫ぶ、破壊的、物を引き裂く；＜攻撃、＜断食、＜＜見られる、＜＜触れられる、殺人的な衝動＜＜つかまれる（3！）、＜物音、＜侮辱。

気分：傲慢、活発、興奮した、恍惚、突飛な、ヒステリック；変わりやすい；忙しい、落ち着きがない、短気な、慌しい、不満足、不安、無頓着；深刻、陰うつ、高い所から飛び降りて自殺する、泣き叫ぶ。

精神：几帳面、鈍い、心ここにあらず、混乱した、言おうとしたことやしようとしたことを忘れる、自分が買おうとしたものを忘れる、疲労、強迫観念、空想に走る、集中力がない、狂気の、愚鈍、せん妄状態、認知症。

接触：＜－、友人、見知らぬ人；＜会話、＜－応答、内気。

仕事：－＞（3）、＞＜＜－。

趣味：散歩、旅行。

職業：芸術家、画家、作家、科学者、歌手、音楽家、教師、医者、僧侶、教区牧師、司祭、シャーマン、知事、秘書、代議士、広告代理業、渉外事務、トップスポーツ選手、道化師、コメディアン、漫画家。

原因：災害、戦争、飢餓、洪水、民族浄化、火事、屈辱、傷つく、見られる、失恋。

[全 般]

類型：やせている、黒髪。

場所：右側、喉の外側。

天候：＜暑さ、＞新鮮な外気、屋外、＜海。

時間：＜午前5時；＜夏。

欲求：デンプン質の食物、大量に食べる、アルコール、肉。

食物：＜断食（3）、果物、ワイン；＞食べる（3）、牛乳。

月経：多量；＜＜抑圧された月経。

睡眠：眠い。

肉体：＞＜休息（2）、＞＞＜動作（2）、＜圧迫；＜－接触；＜物音、痛み、印象。

[身体症状]

分泌物は刺激性で水っぽい。

癌。虚弱。腺がはれて硬くなる。

打ち身の痛み；かゆい。

額・頭頂・こめかみの頭痛。

目：炎症；視覚障害。

副鼻腔炎。オウム病。

水っぽい分泌物の出るかぜ；花粉症。

甲状腺の問題（3！）、肥大、嚢胞、癌、萎縮症；代謝が速すぎる、あるいは遅すぎる：
やせているか肥満している。

声の問題：声がれ、声が出ない、どもり。

アレルギー、喘息、花粉症、かぜ。

肺の問題；過呼吸。

動悸。動脈硬化。血小板減少症。

下痢。

腎臓の疾患。

精巣、卵巣、生殖器の問題。

首の痛み、こわばり。腕。むち打ち。

にきび。腕と脚の湿疹。水疱、小疱。

[DD]

●銀のシリーズ、第17段階、Arnica、Badiaga、Mancinella、Spongia、Tuberculinum、Zincum。

●Tellurium：まだあちらこちらで自分ができることはある、まだ自分の作品を認めてくれる人はいると思っている。Iodumは完全に見放されたと感じており、すべてを自分でやらなくてはならない。ここからの出口は逃げ出すことだけである。なぜなら、すべての人が彼らに敵対しているからである。